

分析法凡例 GC (Gas Chromatograph) : ガスクロマトグラフ
HPLC (High Performance Liquid Chromatograph) : 高速液体クロマトグラフ
IC (Ion Chromatograph): イオンクロマトグラフ
FID (Flame Ionization Detector) : 水素炎イオン化検出器
UV (Ultra Violet detector): 紫外吸光度検出器

新規検討対象物質に係る測定法提案一覧(4物質)

(※)濃度基準値が定まっていない場合には、ACGIH等で設定されているOELのうち最小のものを利用して検討を行う。濃度基準値が定まり、当該濃度基準値が検討に用いたOELと異なる場合には採用された測定法が当該濃度基準値に対しても適用可能か検証する。

資料4-2

No.	CAS RN	物質名称 黄色：分析にガスクロマトグラフ分析法を使用 オレンジ：分析に液体クロマトグラフ分析法を使用 緑：分析にイオンクロマトグラフ分析法を使用	①測定範囲 濃度基準値(※) の1/10及び2倍 が測定範囲に 入っていれば ○、不明確なら ば△、データな しならばND	②抽出/脱着率 または回収率 値が75%以上な らば○ 75%未満ならば △ データなしなら ばND	③保存安定性 値が90%以上な らば○ 90%未満ならば △ 50%程度ならば ×データなしな らばND	④破過 ○は濃度基準値 (※)の2倍で破過 の可能性なし △は濃度基準値 (※)の2倍で破過 の可能性あり データがなけれ ばND	測定方法	捕集法	溶解法	分析法	測定法の総合評価 ○:OK(備考ありを含む) △:要確認(備考参照) P:検証や他の方法の探索が必要	総合評価の実用上の判断 ○ or P (○物質のみ表示)	備考
1	119 1563-66-2	N-メチルカルバミン酸2,3-ジヒドロ-2,2-ジメチル-7-ベンゾ [b] フラニル (別名: カルボフラン)	△	○	○	○	(ろ過+固体) - HPLC	OVS捕集管 (石英フィルター+XAD-2) 1.0 L/min 480 min	0.1M トリエチルアミンリン酸塩含有 (0.2%) アセトニトリル溶液 (pH6.9-7.1) 2 mL	HPLC/UV	△	○	・ IFV評価値 : 0.064 ・ 参考文献がNIOSHの有機窒素系農薬の測定法であるため、使用方法を考慮してろ過捕集を組合わせる。 ・ 測定範囲は480L捕集でOELの1/4倍の濃度から定量可能
2	123 2699-79-8	フッ化スルフリル	△	○	○	△	固体-IC	ヤシ殻活性炭管 0.05~0.1 L/min 100~200min	40mM 水酸化ナトリウム溶液 20 mL	IC/電気伝導度検出器	△	○	・ 10L捕集では濃度基準値の0.2倍の濃度から定量可能 ・ 1段目と2段目を分けて測定し、破過のないことを確認する。
3	158 16752-77-5	S-メチル-N-[(メチルカルバモイル)オキシ]チオアセトイミデート	○	○	○	○	(ろ過+固体) - HPLC	OVS捕集管 (石英フィルター+XAD-2) 0.1~1 L/min 150min~480min	0.1M トリエチルアミンリン酸塩含有 (0.2%) アセトニトリル溶液 (pH6.9-7.1) 2 mL	HPLC/UV	○	○	・ IFV評価値 : 0.24
以下R4年度及びR5年度検討対象物質													
4	R04_79	126-99-8 2-クロロ-1,3-ブタジエン (クロロブレン)	○	○	○	○	固体-GC	球状活性炭管 (SIBATA 100mg/50mg) 0.1 L/min 2~4時間	10%アセトン/二硫化炭素 2mL	GC/FID	○	○	